

SLAS Enriched Class 英語到達目標

色々な情報を含む文献、テキスト、または文学作品を扱い、読む力、

自分の周りにあるもの、日常生活で身近に関わるもの、または人について焦点を当てている

	G1(英語学習1年目) 【初級入門ステージ】	G2(英語学習2年目) 【初級ステージ】	G3(英語学習3年目) 【中級ステージ】	G4(英語学習4年目) 【上級入門ステージ】	G5(英語学習5年目) 【上級Ⅰステージ】	G6(英語学習6年目) 【上級Ⅱステージ】
主たる学習内容	主に話す・聞く力を高めることに焦点を当て、先生との対話、yes-noとwh-questionができるように練習する。日常生活で使う単語を覚え、スペルを正し 家族や学校生活についての話題を取り上げる。その他に数、色、動物、食べ物、形、体の部	主に話す・聞く力を高めることに焦点を当て、友達同士で対話が上げられる会話を練習する。学んだ単語を文に当てはめ、 家族や学校生活についての話題を取り上げる。その他に職業、衣服、家畜動物、食物、世界の動物についても学ぶ。	読む・書く力を高める活動が多くなる。複文を作ることができ、文章の要旨を把握する学習をする。状況や場面にをより詳しく説明できることを目指す。 交通機関、日付の言い方、おもちゃ、野生動物、生活用品、物の形などの単語を取り扱う。その他に天気、邦楽、気持ちを表す表現、重要な標識・	読解力を高める活動が多くなる。規則的・不規則的な変化を理解し、表現することができるを目指す。書き言葉と話し言葉の違いを認識できるようにする。 お金、時間、水中動物、地理的特徴をはじめ、のちに職業、季節、アメリカの休日などについて学ぶ。	物語を作ったり、色々な情報を扱う文章作りに取り組む。ひとつの単語を様々な表現で表せる言語運用能力を高め、また英語表現を理解する力を深める。 これらの能力をスピーチやプレゼンテーション、ライティング、グループでのディスカッション活動を通じて力を高めていく。	読み手、または目的に応じて使っている英単語や英文の構造の違いを学んでいくなかで、内容によって多種多様な英語表現があることを理解していく。様々な英語表現を学ぶなかで、自国の文化、また母国語についての理解も深め、自分自身の価値観を見出すことで英語の表現能力を伸ばしていく土 クラスでのディスカッション、意見交換会、またはオーラルプレゼンテーション、ライティングそしてマルチメディアを通じて英語の幅広い表現を勉強
DRAテスト到達目標	aa-C レベル	C-F レベル	F-I レベル	I-L レベル	L-O レベル	O-R レベル
IPTテスト到達目標	A	AB	C	D	E	F
英検IBAテスト 目安	5級レベル (中学初級程度)	4級レベル (中学中級程度)	3級レベル (中学卒業程度)	準2級レベル (高校初級程度)	準2級レベル (高校中級程度)	2級レベル (高校卒業程度)

【英語力土台づくり:宿題について】

- ラズキッズでのリーディング 毎晩30分ががんばりましょう。
- (1) パソコンやタブレット等オーディオ機器を使って、最低2回は本の内容を聴く。
- (2) 流暢に読めるまで、声に出して読む。
- (3) 確認クイズで内容理解度をチェックする。
- (4) 物語のはじめから中→終わりともう一度話してみる。
- 文作り(センテンスビルダー) トピックに出てくる単語を音読し、その単語を使って文
- そのほかに各クラスから適宜、学習内容に合せた

ご自宅でのサポート法:

- (1) "is"のこぼれを指しながら、一緒に声を出して読む。
 - (2) "is"を使った文を作らせ、口に出して言わせるようにする。
(例) My brother is a boy.
 - (3) 単語のはじめ・中間・終わりどりと韻ごとに分け、一緒に声を出して読む
- スプリング学習
1学期に単語を読めるようになり、その後スプリングをしっかりさせるというステップをとっている。
単語を繰り返し、何度も何度も声に出して読むことが大切である。
繰り返し読むことによって、文字を追って読むのではなく、1つの絵や形として
その単語のつづりを認識することができる。

スプリングテストについて

英語のクラス分け:

DRAテストとは:
米国全州の公立学校機関で採用されているESL(英語第二言語として学ぶ生徒)テスト。主に読む・書く力を試し、音読の正確さ・文章の要旨把握・内容についての質疑応答を実施し、英語力を判断する。

IPTテストとは:
米国IDEA社から出版している英語教材を元に、米国全州の公立学校機関で採用されているESLテスト。主に聞く・話す・読む力が問う。教師との質疑応答で、音読の流暢さ、またアクセント、イントネーション、発音が正しくでき

*スプリングテストで良い点をとることが目標ではなく
(スプリングのみができることを目標としているわけではない)
学んだ単語をベースとして、その後読解力、コミュニケーション能力を高めていくことを目指している。